

アメリカ留学EXPO2018
留学後の就職
～国連で働くという選択肢～

国際機関人事センターHP
<https://www.mofa-irc.go.jp>



国際機関人事センターfacebook
<https://www.facebook.com/MOFA.jinji.center>

外務省 国際機関人事センターとは？

国連をはじめとする国際機関への就職を目指す日本人の方々のために様々な情報を発信する外務省の一部署。

(独) 日本学生支援機構 (JASSO) 実施

「海外留学経験者の追跡調査」

- 留学で得たもの

54.0% 視野が広がった

33.1% 語学力

31.8% 異文化・国際感覚

(独) 日本学生支援機構 (JASSO) 実施

「海外留学経験者の追跡調査」

● 留学後困ったこと

28.3% 語学力の維持が困難

22.8% 語学力を活かす機会がない

(独) 日本学生支援機構 (JASSO) 実施 「海外留学経験者の追跡調査」

44.7%が「帰国して就職」

<内、勤務先>

24.9% サービス業

18.2% 教育・研究

15.6% 製造業

.

アンケートの結果から分かることは...

どうして留学
するの？

理由：英語が話せるよ
うになりたいから。

結果：日本で就職すれ
ば英語力も落ちるかも。

理由：将来、グローバル
な舞台で活躍したいから。

結果：でも実際グロー
バルに活躍できていない
かも。

※国連や国際機関で働くという選択肢もあります！

国連が重視する

3つのコア・バリュー

- 「誠実な人格Integrity」
- 「**専門性Professionalism**」
- 「多様性の尊重Respect for Diversity」

8つのコア・コンピテンシー

- 「対話能力Communication」
- 「チームで行動する能力Teamwork」
- 「企画・構成能力Planning & Organizing」
- 「説明責任能力Accountability」
- 「創造性（力）Creativity」
- 「ニーズ対応力Client Orientation」
- 「学習能力Commitment to Continuous Learning」
- 「新技術習得能力Technological Awareness」

専門性があることとは？

専門性の
最低限の条件

コンビ
ネーショ
ン

修士号

職歴

2年以上

本日の
ポイント

国際機関職員になるには？

①空席公告

随時

②外務省実施
JPO派遣制度

応募期間
例年4～5月

③国連実施YPP

応募期間
例年6～8月

JPO = Junior Professional Officer
YPP = Young Professional Programme

② J P O 派遣制度

将来的に、国際機関で働く意思のある若手日本人を、国際機関に2年間派遣する制度。

◆ メリット

1. 倍率が低い（現在5人に1人の割合で合格）
2. 派遣期間中の国際機関内での人脈形成

受験資格

1. 年齢 35歳以下であること
2. 経歴 大学院修士号を持ち、2年以上の職務経験を有すること
3. 英語で職務が遂行可能であること
4. 日本国籍

グローバル人材めざして がんばろう！

国際機関人事センターHP

<https://www.mofa-irc.go.jp>



国際機関人事センターfacebook

<https://www.facebook.com/MOFA.jinji.center>